

## 経営のヒント53 響創会議

### 響創会議のすすめ！

#### 「思考生産性が向上する会議」・・・意思決定とコミットメントの秘訣

会議で思考生産性を向上させるには？

今までの従来の会議のやり方を変えませんか？

従来の会議は、デカルト思考です。疑惑ゲームなので、問題点の議論や犯人探しに陥りがちになります。

一方、創造理論（ブレークスルー思考）の響創会議では、議論されるテーマは創造的になります。

本質的で、未来のあるべき姿を追求する議論になるので、無駄が無く思考生産性が向上します。

例えば、あなたの会社 部署の問題を二つの会議で考えて見ましょう

#### 「従来の会議」

1. まず、あなたの会社の問題点を語り合います。
2. 問題の原因について語り合います。
3. 誰の責任であるかを明らかにします。
4. 犯人探しを徹底します。
5. 解決策を考え、再発防止に努力します。

#### 「響創会議」

1. 誰の視点なのか、いつ、どこの問題なのかを語り合います。
2. 「何のため」にこの問題を解くのか、ということについて語り合います。
3. どのような価値観で何を基準にするか、また、目標値を決めます。
4. 目的、価値観、物差し、目標値を達成する「あるべき姿」について話し合います。
5. 手本となる「あるべき姿」を決めて実行計画を練ります。

#### 有意義な会議にするための条件

1. 参加メンバーは5~6名、全員積極参加。必要で最適なメンバーが集まる。
2. 創造的思考のメンバーを人選する。
3. リーダーと進行役がカギ。リーダーの役割は議長ではない。

従来の思考の習慣は「デカルト思考」原因追及、分離思想、分析思考、方法論。

科学的な弁証法からスタートしています。

これからは、目的思考、本質追求、関係性重視、展開統合思考がキーになります。

「統合創造思考」がイノベーションを生み出し、新しい価値を生み出します。

いかがですか？あなたの会社の会議・ミーティングでは？

？？「思考の生産性」、目的から考える思考習慣が組織を活性化させます。

**「そもそも何なのか？と自分に問いかけます」**

**「どうあるべきなのか？と自分に問いかけます」**

**「現実にはどうたらいいのか？と自分に問いかけます」**

「21世紀の出来る」トップ 幹部は部下に指示を出す時、必ず3つのことを自分自身と部下に問いかけます。

・・・21世紀は「価値」をいかに生み出すか？問われている時代です。